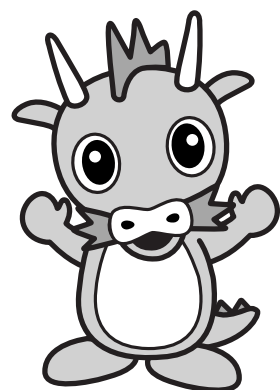


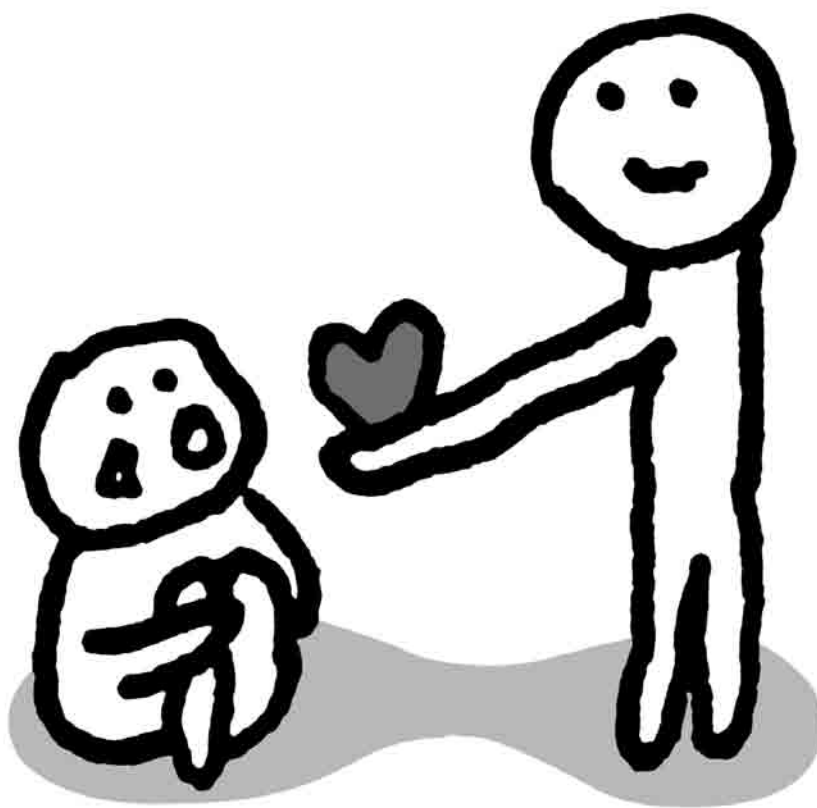
鐘の音



Vol.38
2017.9発行



大宮の古い地名「鐘塚」に建てられた「パートナーシップさいたま」から、男女共同参画推進の鐘の音を響かせたい、その願いを込めて名づけました。



特集 パートナーシップさいたまの講座について . . . 2

- 「ただいま活動中」(幼児をもつ母親のための講座企画委員会) . . . 3
- イベント&セミナーレポート 4
- コラム「コミュニケーション」 5
- Book Navi 図書のご案内 5
- 施設・相談のご案内/ほっとたいむ 6



パートナーシップさいたまの講座について

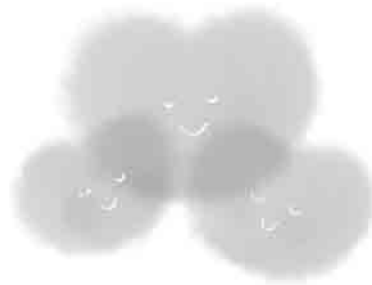
パートナーシップさいたまでは、「男女共同参画」に関する様々な講座・講演会を実施しています。これから開催される講座・講演会の一部をご紹介します。是非ご参加ください。

DV 防止セミナー

「DV からの回復の道のり～私なりの歩み方で～」

DV 法の誕生で、過去には「夫婦喧嘩」で片づけられていたものが「人権侵害」だと考えられるようになりました。しかし、DV 被害に遭う方が減ることはありません。DV についての理解を深めるために、実態の分かりにくさ、またその回復がいかに困難な道のりであるか、当事者のお話から学んでみませんか？

- 日時 平成 29 年 11 月 25 日 (土) 13:30 ~ 15:30
- 会場 生涯学習総合センター 多目的ホール
- 講師 野原 沙希さん
- 対象 市内在住・在勤・在学の方
- 定員 120 名 (託児 15 名)



リプロダクティブヘルス／ライツ講座

「自分の体に起こること、自分の生き方は私が決める」

女性の身体と性の自己決定権について学び、さまざまなライフステージを心身ともに健康に過ごすためのスキルを磨くことで、リプロダクティブヘルス／ライツの知識を深める講座です。

- 日時 平成 29 年 11 月 2、9、16 日 (全 3 回／毎週木曜日) 10:00 ~ 12:00
- 会場 パートナーシップさいたま 会議室 3
- 対象 市内在住・在勤・在学の女性
- 定員 24 名 (託児 5 名)



「傷ついた心のケア講座」

DV やモラルハラスメント、パワーハラスメントなどで、傷ついた心を抱えている方。心身の回復のため、安全な場で自分の心と向き合い、自分らしく生きるための一歩を踏み出しましょう。

- 日時 平成 29 年 10 月 23 日、11 月 27 日、12 月 18 日 (いずれも月曜日) 10:00 ~ 12:00

※希望者を対象にピアサポートグループ (13:00 ~ 14:30) を実施します。

- 会場 尾間木公民館 会議室 2
- 対象 市内在住・在勤・在学の女性
- 定員 24 名 (託児なし)

※ピアサポートグループとは、安全な場で、他では言いにくいことや本音などを語り、また聞くだけの、自分の気持ちをそっと置いていけるグループです。



わたしを見つめる贅沢時間～24時間ママ、プチ休業～

24時間365日、様々な役割をこなしていることが多い女性たち。育児・家事に奮闘する中で、自分を後回しにしていませんか？自分の心のメッセージに耳を傾け、自分らしさに目を向けましょう。

- 日時 平成29年11月21、28日、12月5日（全3回／毎週火曜日）10:00～12:00
- 会場 パートナーシップさいたま 会議室3
- 対象 市内在住・在勤・在学の未就学児をもつ女性
- 定員 18名（託児10名）



HPのご案内

講座のお申込み時期、その他の実施講座については、市報さいたま、パートナーシップさいたまのホームページ（<http://www.city.saitama.jp/006/010/002/004/index.html>）などで随時お知らせしますので、ぜひご覧ください。右のQRコードからURLを読み込むこともできます。



メーリングリストのご案内

パートナーシップさいたまから、月に1回程度、講座のご案内等をメールにて配信しています。ご希望の方は danjo-kyodo-sankaku@city.saitama.lg.jp までご連絡ください。右のQRコードからメールアドレスを読み込むこともできます。



ただいま
活動中

（幼児をもつ母親のための講座企画委員会）



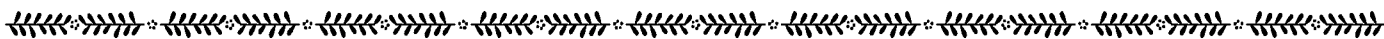
私たちは幼い子をもつ母であり、『幼児をもつ母親のための講座』の企画委員として活動しています。企画委員会では、それぞれの経験や想いを語り合う中で、話題は時に子育てを取り巻く現状や自身の育った環境に関することなど多岐にわたります。そのように、安心して自由に語れる環境、母としてだけでなく「私」という一人の人間として意思を表明できる機会、互いの話を聞きあえる時間は子育て中の日々においては貴重です。この場

で得られる充実感や喜びが、講座を自分たちで作る達成感と相まって、企画に参加するモチベーションアップに繋がっていると感じます。

今年の講座は、「いっぱい話せた！わかってもらえた！」と参加者が感じられるような話し合いの時間を設け、人は色々な気持ちで子育てをしていると気づける機会、母としてふるまう中で見失いがちな「私」に意識を向けられる機会となることを目標としています。“参加してよかった”と感じていただけるよう、これからも話し合いを重ねていきたいです。



イベント & セミナーレポート



パートナーシップさいたまで実施したセミナーをご報告します。

ココロにあるいろんな気持ちを発見～「伝えるカード」をつくるワークショップ～

NPO 法人ふるすあるは：精神科の看護師 細尾ちあきさん（イラスト担当）と精神科の医師 北野陽子さんを中心としたプロジェクトチーム。「精神障がいなどを抱えた親とその子どもの応援」を中心に2012年より活動開始。2015年にNPO 法人ふるすあるはを設立。



平成29年7月1日（土）桜木公民館で開催され、大雨にもかかわらず会場は満席となりました。女性5班と男性1班の6班に分かれ、まず北野さんからワークショップの概要説明がありました。大抵、人は自分の気持ちをうまく言葉にできなかつたり、自分の気持ちを大切にすること自体がどういうことかわからなかつたりするものです。しかし、それを相手に伝える手段としてカードに表現することで、心の発見や整理を目指してみようと作業が始まりました。

伝えたいことはなんですか？誰に何をどんなふうに伝えますか？今日のことでなくても、内容は何でもかまわ

ない、どんな気持ちもみんな◎（まる）、とアドバイスをいただき、カードを作りました。文字だけでなく色をつけたり絵にしてみたり、初対面の間柄でも気持ちを表現できる場となっていました。

その後、各班のファシリテーターが参加者の「今日の一押しの気持ち」を発表、それをちあきさんがイラストと共にテンポのよい関西弁で気持ちを解説してくださり、参加者全員で気持ちのシェアをすることができました。それぞれ気持ちは笑い、怒り、喜びや悲しみと様々でしたが、女性も男性も気持ちは日常の些細なことに由来していると気づきました。終了後、参加者に笑顔と会話が増えたことは間違いありません。心と向き合い自分の気持ちを大切にすること、また、伝えるための工夫を疎かにしてはいけなかつたりとわかりました。配付されたちあきさんのイラストカードは相手に伝える以外に自分の心の整理にも役立つと思いました。（河西 純恵）



性犯罪被害にあうということ～正しい理解のために～

平成29年7月26日（水）、「性暴力防止セミナー」がさいたま市・埼玉県の男女共同参画推進センターの共催で行われました。『性犯罪被害にあうということ』の著者である小林美佳さんを講師として迎え、被害当時から現在までの想いを率直にお話していただきました。会場には男性の姿もありました。

講演は、小林さんが2000年8月に性犯罪被害に遭った当日のお話から始まりました。トラウマの影響で起こる体調の変化と、事件のことを「誰にも言えない」という想いに長い間苦しみ、他の被害者がどうしているか調べてみたくなつたのは事件から何年も経ってからでした。性犯罪被害者が書き込むインターネット掲示板を見つけ、初めて自分以外のたくさんの被害者の存在を知りました。また、ほとんどの被害者が「私が悪い」「汚れてしまった」と自分と同じ思いを抱えているとわかり、被害について話せずに苦しんでいる現状を何とかしたいと考えるよう

になりました。そして、声を上げられない大勢の性犯罪被害者の存在に気づいてもらえたらと『性犯罪被害にあうということ』を出版することになりました。

最後に、「お話するときはずっと、何年たつてもあの時のことを思い出してパニックを起こすのではと不安になります。でもインターネットで知り合った被害者の方とつながり、応援してもらうことが力になっています。私たちは何一つ悪いことをしていないのにどうして一人で苦しまなくてはいけないのか、どうか正しく理解していただきたいです。そして、もし打ち明けられたら、しっかり向き合ってくれていると実感できるような、ことばでも態度でも表情でもよいので、みなさんらしい想いを伝えてください」との言葉でお話を締め括られました。

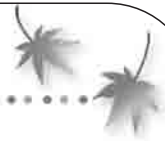
ご講演中、「被害に遭ったことは誰にも言えない、言わない」と何度も出てきて、今さらながら性犯罪・性暴力の理不尽さに思い至りました。（武田 礼子）

グローバル化が進むなか、表現力やコミュニケーション能力の向上を目指して努力していても、今なお、海外の人々に「日本人は何を考えているのかわからない」と思われている日本人の印象。じつのところ、日本人同士でも「相手の本心はわからない」というのが実態ではないでしょうか。本心が不明なままやり過ごした結果、不満が積もり、さまざまなトラブルを生んで悩む人が多いように思います。

控えめで気配りが出来ることは日本人の魅力であり、素晴らしい一面といえます。本音にブレーキをかけ、相手が期待する人間を演じてしまうことは、ときに仕方ないことかもしれません。ですが、行き過ぎた自己犠牲によって、心のバランスを崩す人が増加していることは見過ごせない社会問題となっています。心を壊す人の多くが、家族や友人など身近な人に対しても本音を隠し続けているようです。日本人によくある傾向として、夫婦、親子、付き合いの長い関係であるほど、相手の反応を先読みしてしまい、本音で話す時間を省いてしまう態度があります。誰にでも、安心して素に戻れる場所が必要です。いま一度、家族や友人としっかり本音のコミュニケーションがとれているか、また同時に、望むことがありながら理由をつけて諦めていないか、足を止めて見つめる必要があるのかもかもしれません。 (三澤 裕子)



Book Navi



情報・資料コーナーで貸し出ししている図書のご案内です。

「自分らしく」「自分を大切に」生きることはいつの時代も私たちの大きな課題です。今回は、男らしさの呪縛から離れ、自分らしさを大切に生きるための本をご紹介します。

『<男らしさ>のゆくえ 男性文化の文化社会学』

伊藤公雄著 新曜社 (1993)

古くさい<男らしさ>の鎧を、男たちは今、きれいに脱ぎ捨てるのが問われている。それは男たちにとっての重要な課題であるとともに、女たちにもまた無視して通れない課題という。男たちの未来には、どのような選択肢があるのだろうか。



『男の座標軸—企業から家庭・社会へ』

鹿嶋敬著 岩波新書 (1993)

これからの男たちは、仕事だけではなく、家庭でも地域でも「勤勉さ」を発揮する必要がある。男性が中心になって築き上げてきた仕事などのメカニズムに女性の視点や論理の網をかけながら、最終的には男女共生の道を模索している。



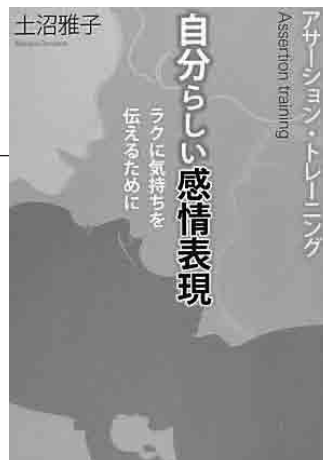
『自分らしい感情表現

ラクに気持ちを伝えるために』

土沼雅子著 日本・精神技術研究所 (2013)

職場、家庭を通して生まれる悩みや葛藤は、人間関係の問題が多い。本書は、さわやかな人間関係を作るためにはアサーティブな言動、つまり、正直に自分の考え、感情や信念を、他人の権利を侵害しない適切な方法で表現することが重要という。

*日本・精神技術研究所ではアサーションの講座を実施しております。詳しくは日本・精神技術研究所のホームページをご覧ください。



施設のご案内

パートナーシップ
さいたま

ひとひと
女・男プラザ

場所	大宮区桜木町 1-10-18 シーノ大宮 センタープラザ 3階	緑区中尾 1440-8 プラザイースト 3階 ※浦和駅東口又は東浦和駅よりバス、 「緑区役所入口」下車
開館時間	平日 9:00~21:00 土・日・祝日 9:00~17:00	9:00~17:00
休館日	第4日曜日、年末年始	月曜日、年末年始

施設の利用

男女共同参画の推進を目的とする活動に、ご利用ください。
(パートナーシップさいたまの会議室・プレイルームと
女・男プラザの団体活動室は、利用登録が必要です。)

情報・資料コーナー、交流コーナー

本や雑誌、行政資料、ビデオなどがあります。
閲覧、貸出しができます。ちょっとした話し合いに利用できる
交流コーナーもあります。

お問い合わせ	パートナー 048-642-8107	048-875-9966
--------	-----------------------	--------------

●女性のDV電話相談

DV相談センター ☎048-642-6699
月~金 / 10:00~17:00 (祝日、年末年始は除く)

相談のご案内

●女性の悩み電話相談

女性の生き方、夫婦、親子の問題、職場や近隣の人間関係などの相談に応じます。

パートナーシップさいたま	☎048-643-5813
月~金 / 10:00~20:00 土・日・祝 / 10:00~16:00	
ひとひと 女・男プラザ	☎048-875-9653
金 / 10:00~17:00	
浦和区役所 女性の相談室	☎048-829-6129
月・火・水・金 / 10:00~17:00	
中央区役所 女性の相談室	☎048-840-6132
月・水 / 10:00~17:00	
岩槻区役所 女性の相談室	☎048-790-0158
月・水 / 10:00~17:00	

●女性のための法律相談(予約制)

女性の弁護士が相談に応じます。

パートナーシップさいたま	☎048-642-8107
第2・第4水曜日 / 13:00~15:30	
ひとひと 女・男プラザ	☎048-875-9966
第1・第3火曜日 / 13:00~15:30	

●女性のための心の健康相談(予約制)

専門の女性の医師が相談に応じます。

パートナーシップさいたま	☎048-642-8107
第4金曜日 / 13:30~16:15	

●男性の悩み電話相談

男性の生き方・仕事・家庭・夫婦・人間関係などの相談に応じます。

パートナーシップさいたま	☎048-643-5805
第2・第4火曜日 / 18:30~20:30 (祝休日は除く)	

◆相談は無料です。◆秘密は厳守します。

ほっとたいむ

昼間はまだまだ残暑に汗を拭う日差しが強さが残っていても、朝夕はだいぶ涼しくなってきました。

秋の季語に「花野」という言葉があります。花野という文字から秋ではなく春をイメージしてしまうのは私だけでしょうか？また、同じ秋の季語で山の紅葉(こうよう)の美しさを表す「山装」というのもあります。身近な野辺に咲く花から秋が始まり、やがて山々が紅葉におおわれ秋が深まっていくさまが目につかびます。

秋をおおさっぱに分けるなら9月が「はしり」、10月が「さかり」、11月が「なごり」となるのか。先人達の美しい言葉から日本の秋の味わい深さを楽しんでみるのは如何でしょうか。

(深堀 樹)

「金は天下のまわりもの」。私たちは毎日、お金のお世話になっています。そこで、どのようなところで製造されているのか調べたところ、「さいたま新都心駅」から歩いて12分のところにある「独立行政法人造幣局さいたま支局」でされているとのこと。同局は、昨年10月に東京都豊島区から移転し、広島支局から送られてきた無地の金属板(円形)で貨幣を製造したり、ブルーフ貨幣(美麗な鏡面と鮮明な模様で記念品に適したものの製造、勲章の製造、貴金属製品の品位証明業務等を行っています。

博物館では、貨幣の単位「円」は明治4年(1871年)の「新貨条例」によって定められたこと(1円1金1.5gの価値)、慶長大判金(1601年)の古銭から各種記念貨幣等が展示されていました。ここで思わぬ大発見(私だけ?)をしました。「和同開珎」がわが国初の貨幣だと認識していたのですが、それを遡ること25年前の天武12年(683年)に、「富本銭」(厭勝銭との学説もあり)が製造されていたということです。思いもよらない勉強と楽しい造幣局。しかし、残念なことに「紙幣」は学習できませんでした。(新藤 賢十郎)

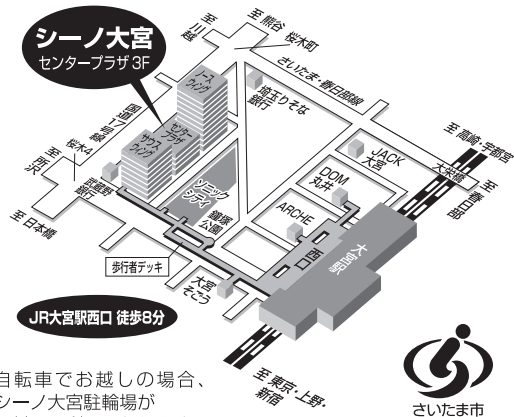
広報誌「鐘の音」のご感想、ご意見をお寄せください。
郵便、FAX、E-mailでパートナーシップさいたままで
お願いします。

パートナーシップさいたま広報誌「鐘の音」vol.38 2017年9月25日発行
＜編集・発行＞
さいたま市男女共同参画推進センター(愛称 パートナーシップさいたま)
編集員 / 河西純恵・新藤賢十郎・武田礼子・深堀樹・三澤裕子
〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-10-18シーノ大宮センタープラザ3階
電話 048-642-8107 FAX 048-643-5801
E-mail: danjo-kyodo-sankaku@city.saitama.lg.jp

◆ホームページもご覧ください◆

9・3月発行(年2回)

この広報誌は3,500部作成し、1部当たりの印刷経費は17.6円です。



自転車でお越しの場合、
シーノ大宮駐輪場が
無料でご利用になれます。



さいたま市